



横浜地本青年部「第20回定期委員会」討論要旨

○秋田地本における教訓的な組織拡大の実践レポートを読んで

▼組合に入ることがこの人にとっての幸せなのだと感じた▼**組合に入る・入らないは個人の生き方**▼職場でも乗務を降りた社員に対し寄り添ってきたがそのとき「JR東労組に加入していたら」と考えることがあった▼**真剣に相手に向かえるのかを考えなくてはいけない**▼加入に向けて周りを巻き込みながら実践していることに感銘を受けた▼**何のために仕事をしているのかが大事**であり周りの顔色をうかがって仕事をしているわけではない



○職場における組織強化・拡大の実践について

▼分会書記長は若手と積極的に関わっているのを聞いて自分はできていないと思った▼組織拡大に向けて**なぜその人を対象にするのかを明確にしないといけない**▼組織を守るために組織拡大をするのかと言えば違うと思う▼その人を守りたい・助けたいと思う人を対象にしていきたい▼組織を守るために加入を呼びかけるのは違うと言われたが、**相手を守ることは最終的に組織を守ることに繋がるのでは**▼自分たちを守るため、会社から自分を守るためにも組織は必要▼組合員の声を会社にぶつけるにはやはり数が重要▼逆に相手を悩ませてしまうのかもしれない▼ワンフロアの職場ではなかなか話しにくい、まずは会話からスタートしていきたい▼レクを企画しても終わってしまえば満足してしまう▼解決策を見つけるために本気で議論できていないのではないか

○盛岡地本での組織強化・拡大の実践報告

▼拡大に向かって最初は1対1で向かっていた▼**実践する人が個別で動いていて組織的にできていなかった**▼それぞれどのような話をしているのかを確認するため3人で話をする場を設けた▼**1人で悩んでいて見えなかったこともある**▼なかなか踏み込めないという現実もある▼仲間で「今日どんな話をしたのか」を共有することも重要

○今回の討論を踏まえた上でそれぞれ何を実践していくのか

▼未加入者がどのような悩みを抱えているのかを見ていく▼**その人を知ることからはじめていきたい**▼**踏み込んで腹を割って話をする必要がある**と思った▼元気がないなと思って何もしないのではなく、**自分から声をかけたことで関係性を築けた**▼悩みを話せないと会社を去っていただけになってしまう▼いろいろと悩みを抱え込んでしまうような人を**少しでもその気持ちが軽くなればと思いきみに誘った**▼その人を救うために踏み込んで簡単な気持ちから繋げていくことが大切だと思った▼**相手をどうしていきたいかを考え向き合ってきた**▼加入を迫ると悩んでしまうと言うが誰が悩ませているのか▼労働者を守るために組織強化・拡大を担っていく